

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立修道館
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	修道館は、柔道、剣道その他これらに類するスポーツの場を提供することにより、市民の心身の鍛錬に資するとともに柔道剣道等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	市民に、柔道、剣道、薙刀や弓道を行う場を提供し、日本古来の伝統武道に接する場を提供することにより、武道の普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人大阪武道振興協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		84.0%
達成率		105%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	16,325	14,190	1.15
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	38,877,044	45,725,680	0	
	計画	38,877,044	45,725,680		
利用料金収入	実績	8,282,070	5,694,980	-217,930	回復傾向にあるが計画時(4年前)までは戻ってきていない。
	計画	8,500,000	8,500,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	5,154,915	3,220,197	-2,375,085	上記に同じ
	計画	7,530,000	7,530,000		
合計	実績	52,314,029	54,640,857	-2,593,015	
	計画	54,907,044	61,755,680		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	25,432,388	26,945,861	-908,012	賃金単価が計画時より上がっているが職員配置の結果、減となった
	計画	26,340,400	26,340,400		
物件費	実績	13,009,634	18,144,091	509,634	昨年度より節約を徹底したが、諸物価の高騰が影響した
	計画	12,500,000	12,500,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	9,262,649	8,046,072	-3,771,251	再開した競技会等事業の規模を縮小した
	計画	13,033,900	13,033,900		
合計	実績	47,704,671	53,136,024	-4,169,629	
	計画	51,874,300	51,874,300		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	105.0%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・光熱費の節約 ・大会申込等をメールで受け付け、郵送代等を削減 ・大会の開催における経費削減 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見の聞き取り ・アンケート調査の長期実施 ・競技団体からの意見聴取

6 外部専門家意見

<p>コロナ禍から回復傾向が示され、利用者数、利用料金収入、自主事業収入ともに、増員・増収になっている点は評価できる。市民の日常生活が戻り、次年度の事業では、柔道と剣道といった修道館の特徴を踏まえた上で、計画を上回る利用者数と収入を上げ、安定的な公共施設の経営を図ってもらいたい。同時に、人件費・物件費など、昨今の状況を踏まえれば、経営的に工夫が必要であるものの、利用者満足度についても現状維持を基準に据えて、利用者からの要望や苦情などに対応しながら、さらなる向上をめざしてほしい。利用料金収入及び経費の計画について、年度ごとに見直しを行う必要があると考えられる。加えれば、柔道と剣道以外に、居合道の普及に資する取り組みは見られるものの、なぎなたを始め、他の武道の普及活動が低調であるように感じられるため、業務の概要に記された「日本古来の伝統武道」の普及・振興に資する取り組みを手掛けてもらいたい。</p>

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪城弓道場
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	弓道場は、市民の健康増進と文化的な都市生活の確保に寄与することを目的とする。
業務の概要	市民に、柔道、剣道、薙刀や弓道を行う場を提供し、日本古来の伝統武道に接する場を提供することにより、武道の普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人大阪武道振興協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		82.0%
達成率		103%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	16,098	12,372	1.30
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	9,207,060	9,866,829	0	
	計画	9,207,060	9,866,829		
利用料金収入	実績	6,007,250	4,501,200	-1,342,750	回復傾向にあるが計画時(4年前)までは戻ってきていない。
	計画	7,350,000	7,350,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	3,398,173	1,385,900	-481,827	上記に同じ
	計画	3,880,000	3,880,000		
合計	実績	18,612,483	15,753,929	-1,824,577	
	計画	20,437,060	21,096,829		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	13,546,950	10,873,175	3,380,150	職員配置の結果、増となり、また賃金単価が計画時より上がった
	計画	10,166,800	10,166,800		
物件費	実績	8,657,180	8,732,849	887,180	昨年度より節約を徹底したが、諸物価の高騰が影響した
	計画	7,770,000	7,770,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	795,769	571,871	-885,431	再開した競技会等事業の規模を縮小した
	計画	1,681,200	1,681,200		
合計	実績	22,999,899	20,177,895	3,381,899	
	計画	19,618,000	19,618,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	103%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・LED照明への切り替えによる電気代削減 ・大会申込等をメールで受け付け、郵送代等を削減 ・大会の開催における経費削減	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見の聞き取り ・アンケート調査の長期実施 ・競技団体からの意見聴取

6 外部専門家意見

利用者数、利用料金収入、自主事業収入ともに、増員・増収になっている点は評価できる。ただ、利用料金収入は、計画の8割程度に留まっているため、市民の日常生活が戻った現在、次年度の事業では、弓道場の特徴を踏まえた上で、計画を上回る利用者数と収入を上げ、安定的な公共施設の経営を図ってもらいたい。とりわけ、自主事業は、前年度から飛躍的に増収しており、教室の増設を図り、さらなる普及活動に努めたり、キャンセル待ちの解消に努めたりするなど、さらなる増収を図る経営努力をしてもらいたい。施設の特徴を踏まえた上で、利用者の安全管理には万全を期し、その上で、現状の利用者満足度を基準に据えて、利用者満足度の維持向上にも努めてほしい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	